

# 静岡県立静岡がんセンター

# 施設背景・特徴、診療状況

静岡県立静岡がんセンター 開院：2002年  
615床（うち、緩和ケア病棟 50床）  
小児科併設の成人がん専門施設



当院で診断・治療を受ける  
AYA世代（15-29歳）がん患者数

- ・ 1年間で約90例の新規患者
- ・ AYA世代病棟では、1年間で約60-70例が治療を受ける

# AYA支援チームの成り立ち

2002年 静岡がんセンター開設

- A Y A 診療をはじめ、開設時から患者の年齢をこえた診療
- がんセンターにおける小児科の意義と役割を定義しての設置
- **多職種チーム医療**の展開を大事にした診療およびケア  
多職種・多診療科による合同カンファランスを基本とした情報共有  
米国からCLSの招聘

2014年 A Y A 世代病棟の構想と設置に向けた準備

2015年 病棟再編により **A Y A 世代病棟の設置**

- 肉腫患者をシームレスに診療するための体制  
小児科と整形外科を中心とした診療科構成
- 病棟の一部クリーン病棟化などの整備
- A Y A ケアー院内の拠点となるチーム作り  
『**元気に社会に送り出す**』病棟を目標

2018年 こどもをもつがん患者・家族をケアする**小児科家族支援チーム**  
**リンクナース制度**の確立



A Y A 支援チームおよびリンクナースの活動に発展

# AYA支援チームのチーム構成職種

- 医師：小児科、整形外科、原発不明科 など
- 看護師：病棟看護師、リンクナース、専門・認定看護師 など
- チャイルド・ライフ・スペシャリスト
- 臨床心理士
- メディカルソーシャルワーカー

<状況に応じて目的別にチーム医療に参加する職種>

- リハビリテーション：理学療法士、作業療法士、言語療法士
- 栄養士
- 薬剤師

その時々の患者・家族の抱える課題に即して  
AYA診療・ケアにおいて得意なことを率先して行うチーム

# 主な活動

## 1. AYA世代病棟における活動

- 多職種・多診療科の合同カンファランスにより適切な診療・ケアを展開
- AYA世代病棟の利用がメリットを生む患者・家族を同定する情報共有

## 2. AYA支援チームを中心とした院内の活動

- 小児科家族支援チームの活動として、AYA世代の診療・ケアの提供や医療者に対する支援を展開  
(病棟・外来・化学療法センターなど回診、相談症例ディスカッション)
- リンクナースによるチームとの対象者の情報共有および協働によるケアの提供、若者を支援する文化づくり
- スクリーニングによるAYA世代のがん闘病に関する課題をもつ対象の同定
- ピア・サポートとして当事者の横のつながりの場の提供
  - ・ 『若者たちの座談会』 『親のつどい』  
AYA世代患者・親が同様の体験を有する仲間との出会い、情報共有
  - ・ 『子育て世代の座談会』  
こどもをもつ患者・家族が子への説明や子育て上の悩みなどの共有  
こども同士のプログラムでは仲間と出会える機会

## 3. 地域に向けた活動

- がん診療連携協議会の小児・AYA世代がん部会により、静岡県内のAYAがん診療施設間および行政と連携し、AYA世代がん患者を地域で支えていく仕組みづくり

# 2019年度以降の活動の目標と課題

	AYA病棟	病院内の連携	地域連携（静岡県）
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AYA世代がん患者の集約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多職種によるAYA支援チームおよびリンクナース制度の確立</li> <li>・ ケアニーズが高い患者やハイリスクの患者への介入率の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内のAYA拠点となる小児専門病院・総合病院・大学病院および行政との連携</li> <li>・ 地域連携モデルの作成（LTFU地域連携パス）</li> <li>・ SOFNET（生殖医療）を有効活用した地域連携の強化</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内でのAYA世代病棟の効果的な活用の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AYA世代病棟で治療を受けない患者の診療およびケアの向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携施設でAYA世代へのサポートの必要性の理解と協力</li> </ul>